

基本的考え方

- ◆日本の航空システムの長所を伸ばしつつ、更に日本の空を世界に開く。その中で、国際航空の環境変化に機敏に対応しながら、戦略的に我が国の航空企業や空港の国際競争力を向上。
- ◆我が国の航空企業が、後手と見られがちな対応から一歩踏み込み、航空ニーズの創造を積極的に進めるよう、航空行政はボトルネック解消のための環境整備を実施。

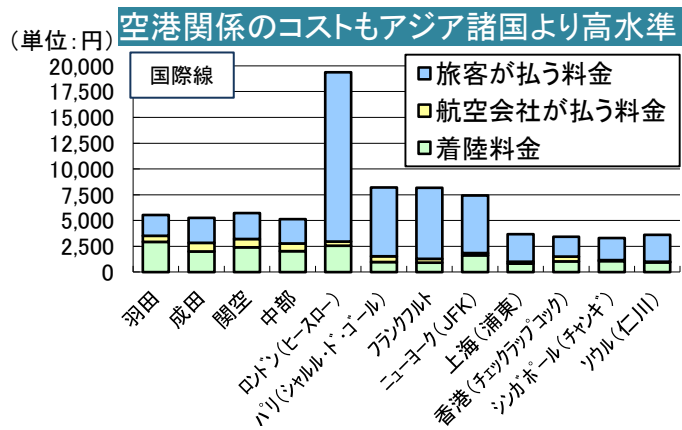
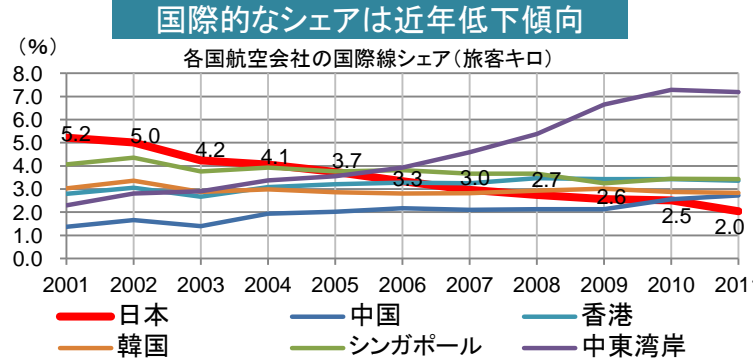
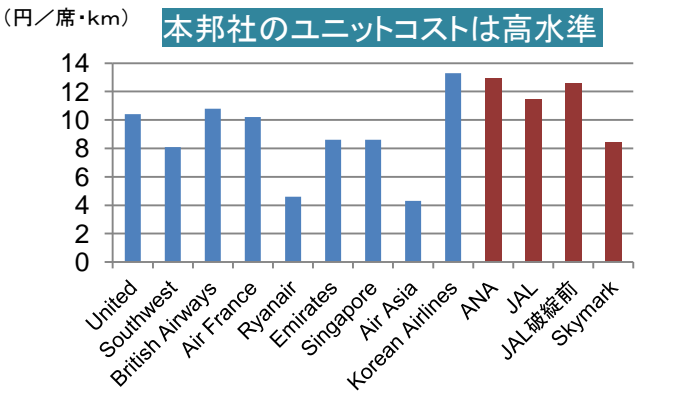
我が国航空の課題

我が国航空企業が国際競争に対峙できるコスト構造を身に着けることが必要

都市の競争力強化やインバウンド増加のためには我が国の国際航空ネットワークの拡充が必要

我が国航空の強み

我が国の最大の強みである優れた品質の提供能力を武器に、航空サービスの質的向上をあまねく不断に追求



総合力でアジア諸国の空港が先行

世界主要都市における国際線就航都市数

主要都市	就航都市数
東京(4)	85 (42)
ロンドン(1)	303 (183)
パリ(3)	257 (149)
シンガポール(5)	138 (105)
ソウル(6)	138 (127)

空港総合評価ランキング2014 World Airport Award SKYTRAX社

1位: チャンギ空港(シンガポール)
2位: 仁川空港(韓国)
4位: 香港国際空港
6位: 羽田空港、12位: 中部空港
14位: 関西空港、16位: 成田空港

世界の都市力比較 (交通・インフラ領域) PwC Cities of Opportunity (2012)

シンガポール(1位)、ソウル(2位)に対し、東京は4位 (※前年の6位から上昇)

※世界の都市総合力ランキング(森記念財団2013)の総合順位 ※括弧内は自国航空会社の就航都市数

正確な航空・空港のオペレーション能力

【定時運航率ランキング】
日本航空(世界1位)、全日本空輸(同3位)
※FLIGHTSTATS社 On-time Performance Service Award 2013
羽田空港(世界1位)、成田空港(同2位)
※FLIGHTSTATS社 On-time Performance report 2013年12月

高品質できめ細かいサービス提供能力

全日本空輸 総合評価: 世界4位
- 客室の清潔さ: 同1位
- 空港サービス: 同1位
- ファーストクラス・客室: 同2位
- ファーストクラス・食事: 同3位

日本航空
- ビジネスクラス・シート 同1位

羽田空港
- 清潔さ: 世界1位
- セキュリティ手続: 同2位

関西空港
- 空港スタッフ: アジア1位

全日本空輸・日本航空ともランキングが10位以下だった項目
- ラウンジ (ファーストクラスでは全日本空輸10位)
- ビジネス・エコノミークラス・食事 (プレミアムエコノミーで全日本空輸10位)
- 機内エンターテインメント

※World Airline Award SKYTRAX社 2013

以下の項目はアジア諸国の空港が先行
- 入国審査 ※仁川1位、チャンギ2位 (羽田3位、中部4位、関西8位、成田圏外)
- ショッピング ※チャンギ2位、香港3位 (羽田6位、成田10位) ドバイ4位
- 手荷物デリバリー ※香港1位、仁川2位 (羽田4位、成田7位) チャンギ3位

※World Airport Award SKYTRAX社 2014

安全な航空・空港サービスの提供能力

定期便の事故発生率: 2.1件/100万フライト (世界平均: 4.1) ※過去5カ年の平均
定期便での死亡・全損事故: 1985年以降ゼロ

	我が国航空企業が国際競争に対峙できるコスト構造を身に着けるため	我が国の国際航空ネットワークの拡充を図るため	我が国の航空サービスの質的向上を図るため
航空企業 空港等	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の航空企業間の競争を促進し、企業体力を磨く自助努力を強力に促進 LCC市場の成長で多様な航空ネットワークが構築される中で、全体のコスト水準を低下 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた市場の中での営業展開から脱皮し、新規市場の開拓を指向した独自の航空ネットワークを構築するための戦略を確立 海外企業との連携やセカンドブランドの展開等による航空ネットワーク拡充 乗継需要の積極的な取込みと訪日外国人の多様なニーズを重視した営業展開 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者目線に立った動線改良や乗継時間の短縮など空港の空間マネジメント改善 事業者間の連携を強化することによる、航空利用者に対するサービス水準向上
航空行政	<ul style="list-style-type: none"> 空港関係のコスト全体の水準を低下させることで、航空企業の負担の軽減を推進 公租公課等の相当部分を欧米並みに航空利用者から直接徴収する体系へ移行する具体的方策を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏空港の更なる機能強化をはじめ、空港及び管制の処理能力の向上と空港の活性化 航空輸送の枠組みの見直し、独自路線開設のインセンティブの付与、観光政策と軌を一にしてLCC等を活用した全国での訪日外国人受入促進策等の施策を推進し、健全な競争環境の整備に努めつつ、航空企業の航空需要創造の取組を積極的に後押し 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者に対する監査・審査等の強化や空港の維持管理・更新による安全の確保 空港アクセスの確保・充実(特に大都市圏における深夜早朝時間帯のアクセス確保) 国管理空港での顧客満足度調査の実施